

# 運 用 学

( 卷 の 2 )

昭和 45 年 4 月

防 衛 大 学 校

# HP『海軍砲術学校』公開資料

## 運用学教科書(巻2)

### 目次

第1章 停泊要具	1
第1節 錨	1
1 構造による種別及び各部の名称	1
2 用途による種別	6
3 錨の諸試験	7
第2節 錨鎖及び錨索	9
1 錨鎖	9
2 錨索	15
第3節 錨及び錨鎖の付属具及び関係装置	16
1 錨鎖庫	16
2 錨鎖孔	16
3 錨鎖庫スリップ	16
4 プレーキ、スリップ、ストッパー	17
5 抑鎖鐸	17
6 双錨係鎖	18
7 解揚シャックル	19
8 解揚鈎	19
9 鈎索	19
10 鎖鈎	19
11 示錨浮標	19
12 測鉛線	19
第4節 錨及び錨鎖、同付属具の取扱保存	21
1 錨及び錨鎖の取扱に関する注意	21
2 錨及び錨鎖の保存手入	22
第5節 揚錨装置	24
1 揚錨機の用途	24
2 揚錨機の種類	25
3 揚錨装置取扱上の注意事項	27
4 各艦錨関係要目表(参考)	30
第2章 錨泊理論	31

# HP『海軍砲術学校』公開資料

第1節	懸垂曲線と錨泊	31
1	理論的考察の必要性	31
2	懸垂曲線の特性	31
第2節	外力と把駐力	38
1	外力と振廻り運動	38
2	把駐力	40
3	把駐力係数と把駐力算法	42
4	把駐力最大發揮の条件	45
5	外力と把駐力の鈎合及び走錨現象	45
第3節	緩衝作用と緩衝長	47
1	緩衝作用	47
2	緩衝長	47
第4節	把駐力と錨鎖長	49
1	把駐力の補強法	49
2	錨鎖の最大荷重と外力及び水深の限界	49
3	錨爪の喰込作用と抑止法	50
4	投錨時の存速についての概念	51
5	錨鎖伸出量の決定	51
第5節	外力	52
1	外力概算法	52
2	錨泊要表	55
第3章	錨泊	63
第1節	通則	63
1	錨泊法の種類	63
2	投錨法	63
3	入港通則	65
4	錨指揮官としての注意事項	67
第2節	単錨泊	69
1	通則	69
2	投錨用意	72
3	前進投錨作業	73
4	風潮大なる場合の前進投錨	74
5	後進投錨作業	75
6	示錨浮標	75

# HP『海軍砲術学校』公開資料

7	岩礁の海底における投錨	76
8	錨作業指揮官の注意事項	76
第3節	二錨泊	77
1	二錨泊を行う場合	77
2	二錨泊の一般的方法	77
第4節	双錨泊	81
1	通則	81
2	双錨泊の種類	81
3	前進双錨泊の方法及び諸注意	82
4	後進双錨泊	83
5	双錨係鎖を使用するかかり法	83
6	双錨泊時錨作業指揮官の注意事項	87
第5節	揚錨出港	88
1	出港法通則	88
2	揚錨出港	90
第6節	各種投錨法	93
1	深海投錨	93
2	河江錨泊	93
3	投錨回頭法	96
4	高速投錨法	97
5	艀錨使用法	98
第4章	特殊錨作業	99
第1節	錨鎖解揚法	99
1	からみ錨鎖を生ずる原因	99
2	からみ錨鎖の状態	100
3	錨鎖解揚法	100
第2節	捨錨	103
1	捨錨出港	103
2	捨錨準備	103
3	捨錨の方法	103
4	荒天特殊捨錨法〔参考〕	104
5	捨錨時における注意事項	105

# HP『海軍砲術学校』公開資料

第3節	探 錨	106
1	探 錨	106
2	概位判明のときの探錨	106
3	位置不明のときの探錨	106
第4節	検 錨	108
1	検 錨 法	108
2	深泥中の検錨法	108
第5節	錨 搬 出 法〔参考〕	109
1	通 則	109
2	小 錨 搬 出 法	110
3	主 錨 搬 出 法	112